



広島大学

WWLコンソーシアム構築支援事業

令和2年度指定

広島大学アドバンスラーニング(AL)ネットワーク構想

ー西日本をつなぐグローバル人材育成イニシアティブー



カリキュラム開発拠点校

広島大学附属福山中・高等学校



広島大学

WWL取り組み発表（令和2年度指定校）

高大接続の取組に係るプロセスで苦労した点や工夫点について

「広島大学における高大接続や先取り履修の取り組みについて」

<発表の内容>

- 広島大学WWL構想の概要
- 広島大学 AP(アドバンスプレースメント)の報告
- 知的好奇心 広島大学名講義100選
- 高大の接続 IDEC - IGS連携プログラムを例に



広島大学

広島大学WWL構想の概要

- ・ 目指す資質・能力を育成するためのカリキュラムの開発・普及
- ・ 西日本をネットワークで結ぶ，協働による課題解決の場の提供
- ・ 総合大学のリソースを活用

<広島大学の概要>

- **総合大学 12学部, 4研究科 (11の大学院研究科を改組)**
- **学部学生 10,631名, 大学院生 4,452名** (令和2年11月現在)
出身高校所在地別合格者状況(8地方区分別)
北海道 14, 東北 8, 関東 55, 中部 212, 近畿 327, 中国 1216 (内, 広島 853), 四国 233, 九州 576
- **外国人留学生 72カ国(地域) 1,650名** (令和3年5月現在)



広島大学



WWLコンソーシアム構築支援事業



HIROSHIMA UNIVERSITY

西日本をつなぐグローバルリーダー育成イニシアティブ

育成を目指す生徒像

- ① 「自由・自主」の精神 ② 「基盤となる教養」の獲得
- ③ 「クリティカルシンキング」の実践
- ④ 「問題解決」の経験知の蓄積
- ⑤ 「他者へのまなざし」の体得
- ⑥ 「リスク・コミュニケーション」に基づく創造性の醸成

資質・能力と経験を兼ね備えたグローバルリーダー

中心となる開発課題

- ① グローバルな社会課題をテーマにした課題研究を組織的に進める体制の開発
- ② グローバルリーダーに求められる資質・能力の育成をめざすカリキュラムの開発
- ③ 地域を超えた「課題研究グループワーク・ネットワーク」の開発
- ④ 高度な内容を提供するアドバンスト・プレイスメント（A P）等の開発
- ⑤ 高校生が主体となって実施する成果発表会や国際会議の実施手法の開発

西日本をカバーする広域アドバンスト・ラーニングネットワーク（協働による課題解決の場の提

レスポンシビリティをベースに、異文化間のディスカッションを通して正義にかなう最適解を求める課題解決

SDGsの重要課題
地域を越えた課題の例

- 平和
- 環境
- 自然災害
- 交通
- 貧困

- 共通したテーマ設定による課題研究
- 共通課題を持つグループ同士でディスカッション
- 海外の高校生との協働拠点校・連携校とつながる海外の高校等を支援
- 国際会議を開催し共通のテーマで議論
- 広島大学の留学生・広島大学の学生によるサポート（参加校のOB・OG等）

総合大学のリソースを活

- ◇大学の授業への参加，研究室の紹介，研究への助言 → A P（アドバンスト・プレイスメント）
- ◇広島大学による高校生向け講座・教員向け講座（イノベーション創出のプロセスの提供）
- ◇参加校（連携校・海外の高校）の高校生をサポート 参加校OB・OGの広島大学の学生・大学院生・留学生
- ◇学校・教員への指導・助言，研修の提供，企業・行政機関等とのコラボレーション，ICTノウハウの提供

管理機関 広島大学

- 高大接続・入学センター
- 総合科学部国際共創学科
- I D E C機構
- 教育学部
- 情報メディア教育研究センター
- 情報科学部 等

SSH
Score Science High School

SGH

鹿児島県立 甲南高等学校

SGH

大分県立 大分上野丘高等学校

目指す資質・能力を育成するためのカリキュラムの開発・普及

各校で使えるソリューションにパッケージ化 → 各校への提供

SGHでの研究開発の成果

- ・論理的な思考力
- ・クリティカルシンキング
- ・合意形成能力

を育成するカリキュラム

事業拠点校

- 全教科での共通理解 普段の授業を見直す
- 文理融合の新しいカリキュラムの開発
- 体験を基盤とする課題研究 メソッドの開発
- 多様な異文化交流

実践の記録，的確な評価方法の開発，カリキュラム評価，卒業後の生徒の追跡調査 などによる成果の検証

SGH

広島大学 附属福山中・高等学校

SSH

広島県立 福山誠之館 高等学校

SSH

福山市立 福山高等学校

SSH

広島大学 附属高等学校

SELHi

広島市立 舟入高等学校



広島大学

広島大学 AP (アドバンスプレースメント) の報告

- ・ 大学生と同じ授業に，大学生と一緒に（科目履修生に準拠）
- ・ 広島大学への入学後に大学の単位として認定
- ・ 対面授業への参加を想定して構築→オンデマンドでの実施

<2020年度実施の概要>

- 実施科目 人文社会系科目「睡眠の科学」(2単位)
自然科学系科目「生活の中の遺伝と突然変異」(2単位)
「サイエンス入門」(2単位)
- 受講者 6月末に事業連携校を含めて受講者を募集
延べ130名の生徒が履修 → 89名に単位修得証明書を発行
(高1・高2 ほぼ半数ずつ)



広島大学

広島大学 AP (アドバンスプレイスメント) の報告

- ・ 準備は2017年頃から
- ・ SSH校, SGH校, WWL校を対象として試行 (2020年度~)
- ・ 大学の思惑

<AP構築の歩み>

- 準備 大学との協議 全学共通教育担当の副学長を中心に
広島大学の附属高等学校 (2校) をモデルケースとして構築 (2019まで)
- 課題 大学生の授業に参加 でなければ, 単位は出せない 科目履修生に準ずる
講義室の収容人数, 時間設定 (大学の5コマ: 16:20~17:50)



広島大学 AP (アドバンスプレイスメント) の報告

広島大学

- ・ 生徒の反応
 - 大学の授業への興味
 - 授業内容への興味
 - 学びを深める体験

<生徒のアンケートより>

- 受講した理由
 - 内容が興味深かった (39%)
 - 大学レベルの教育を受けてみたかった (26%)
 - 広島大学の単位として利用したいから (14%)
 - 高校の先生にすすめられたから (9%)
 - 保護者にすすめられたから (8%)
 - 友達が受講するから (4%)

<生徒の感想より>

- 先生が授業の振り返りに対して丁寧に対応してくださり、それが楽しみで受講を続けられました。
- 大学の授業の形式や内容を知ることができてよかった。
- 授業内容はどれも新しい内容ばかりでしたが、高校の授業で習ったことと関連付けたり、なにより自分で疑問を解決するために調べることができたので、どの内容も興味深かったです。



知的好奇心 広島大学名講義100選

広島大学

・大学の授業への興味 授業内容への興味 に こだえる



<2020年より配信>

【越智学長の発案】

○目的 広島大学の「知」を通じて「学び」や様々なことに興味をもつていただくきっかけとなること

<2021年WWL>

○「知を鍛える-広大名講義100選-」 を事前視聴→WWL向け講演→研究者との質疑応答

○現在調整中 夏以降に実施予定



広島大学

高大の接続 IDEC - IGS連携プログラムを例に

- ・ 留学生とのディスカッション
- ・ ALL English
- ・ 共通のテーマ→ 課題研究の深化
- ・ 模造紙+付箋紙=プロブレムツリー



<SGHでの取り組み(2015~2019年)>

○ IDEC連携プログラム(年間5回)

大学院 国際協力研究科 (IDEC) 留学生 と 高校生によるディスカッション

テーマ <教育, 環境, 平和> 留学生の研究をもとに議論 (第1回・2回)

→ 高校生の課題研究の発表をもとに議論 → 修正 (第3回・4回)

→ 最終発表会 (第5回)



広島大学

高大の接続 IDEC - IGS連携プログラムを例に

- ・ WWL 人のつながりをつくる
- ・ **大学院留学生** <---つながり---> **高校生**
- ・ 対面（近隣の連携校） と オンライン（遠方の連携校）
- ・ 最終発表は，広島大学を会場に全員対面で

<WWLへの発展(2020年~)>

○ 実施上の工夫

IDEC留学生 と 高校生 を つなぐファシリテーター

= **総合科学部国際共創学科 (IGS) 学生**

役割 <議論を導く> 橋渡し役

内容の補足, 難しい単語 など 高校生をサポートする



広島大学

高大の接続 IDEC - IGS連携プログラムを例に

- ・ WWL 人のつながりをつくる
- ・ 大学院留学生 <---つながり---> 高校生
- ・ 対面（近隣の連携校） と オンライン（遠方の連携校）
- ・ 最終発表は，広島大学を会場に全員対面で

<WWLへの発展(2020年~)>

○ 実施上の工夫

対面での議論 と オンラインでの議論 を つなぐファシリテーター

= 広島大学に進学している連携校等の卒業生

役割 <遠隔からの参加者を議論に誘導>

うながす, 支える, など 遠隔の高校生をサポートする



広島大学

IDEC_IGS連携プログラムの概要 (2020)

- ・ WWL 人のつながりをつくる
- ・ 大学院留学生 <---つながり---> 高校生
- ・ 対面 (近隣の連携校) と オンライン (遠方の連携校)
- ・ 最終発表は、広島大学を会場に全員対面で

<WWLへの発展(2020年~)>

○ 実施上の工夫

全体での発表 留学生は自分の研究内容を、高校生にわかるようにかみ砕いてプレゼン

その後 議論は少人数で

各グループに分かれて 討議を行う zoom の breakoutroom を利用





広島大学

IDEC_IGS連携プログラムの概要 (2020)

- ・ WWL 人のつながりをつくる
- ・ 大学院留学生 <---つながり---> 高校生
- ・ 対面（近隣の連携校） と オンライン（遠方の連携校）
- ・ 最終発表は，広島大学を会場に全員対面で

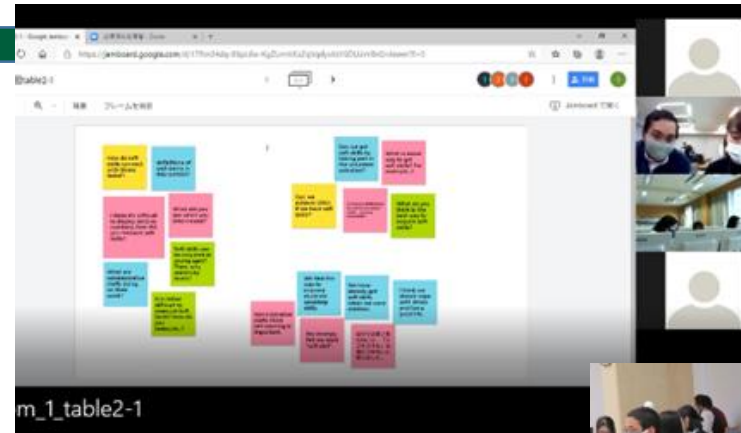
<WWLへの発展(2020年~)>

○ 実施上の工夫

プロブレムツリーによる問題分析

模造紙 + 付箋紙 遠隔からは内容が把握しにくい

ホワイトボードの共有 **Google Jamboard** を利用





広島大学

IDEC_IGS連携プログラムの概要 (2020)

- ・ WWL 人のつながりをつくる
- ・ 大学院留学生 <---つながり---> 高校生
- ・ 対面（近隣の連携校） と オンライン（遠方の連携校）
- ・ **最終発表は，広島大学を会場に対面で**

<WWLへの発展(2020年~)>

○ 実施上の工夫

広島大学のキャンパスへ集合

対面での成果発表 高校生の課題研究





広島大学

IDEC_IGS連携プログラムの概要 (2020)

- ・ 生徒の反応
思考の広がり, 深まり
英語によるコミュニケーション・ディスカッションの経験
世界で起きていることへの興味の高まり

<生徒の感想より 1 >

○ このプログラムに参加して、世界で起きている事について知る事ができるととても良い機会だったと感じました。普段の学校の授業では教育・環境・平和について考える事が少なかったため、実際に自分達で発展途上国の教育について研究を行うことで、課題やその課題を解決するには何が必要なのかなどを知る事ができました。また、グループディスカッションを通して自分の意見をもっと積極的に発表する事が大切だと感じました。このプログラムに参加して、世界の事についてより興味を持ったので、これからも研究を続けていきたいと思えます。

<生徒の感想より 2 >

○ 今まで知識としてなかった海外の教育や環境問題などについて知ることが出来て、物事を広く考えたりひとつを深く考えていったりすることができるようになったと思う。また、ALT以外の様々な国の英語を耳にすることができ、同じ言語でも、世界でこんなに発音が違うのかということを知ることが出来た。いつもは授業の50分と家庭学習ぐらいでしか英語に触れてなくてこんなに長い間英語を聞いたりすることはあまり経験になかったから、凄くいい経験になったし、全部を理解できなくても英語を聞き使うことの楽しさを改めて実感することが出来た。



広島大学

WWL取り組み発表（令和2年度指定校）

高大接続の取組に係るプロセスで苦勞した点や工夫点について

「広島大学における高大接続や先取り履修の取り組みについて」

<ご静聴, ありがとうございました>



カリキュラム開発拠点校

広島大学附属福山中・高等学校